

INFORMATION

臨床実践の現象学会は、事象そのものへと立ち返ることを要請する現象学を手がかりに、人々の経験や実践をとらえ直すことを目指した研究に取り組んでいます。月1回の研究会（東京・大阪の交互開催）では、多様な学問背景の現象学的研究の発表がなされています。お一人2時間半の持ち時間のなかで、インタビューやフィールドノーツの生データの解釈や、研究方法の検討など、じっくり議論しております。発表者だけではなく、研究会の参加者の方々にも、それぞれの視点から学びが得られる会となっております。

なお第二回学術大会は、下記の通り開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

第二回臨床実践の 現象学会大会

日時：2016年8月6日(土)9:00～17:00(受付 8:30～)

会場：大阪大学豊中キャンパス 大阪大学会館 アセンブリーホール、セミナー室1

テーマ：現象学ってなんやねん

大会長：村上靖彦(大阪大学教授)

プログラム：ラウンドテーブルディ

スカッション「『語る』『聴く』を問い直す」森岡正芳(神戸大学教授)、大久保功子(東京医科歯科大学教授)、坂井志織(臨床実践の現象学会事務局)／一般演題／その他(調整中)

参加費：1000円

参加方法：下記ホームページ内フォームにて事前参加登録。参加費は当日支払。(当日参加も可)

問合せ：臨床実践の現象学会大会事務局

E-mail: clinical.phenomenology@gmail.com

ホームページ: <http://clinical-phenomenology.com/meeting/>